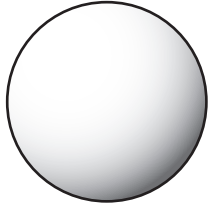


月の満ち欠けを考えよう

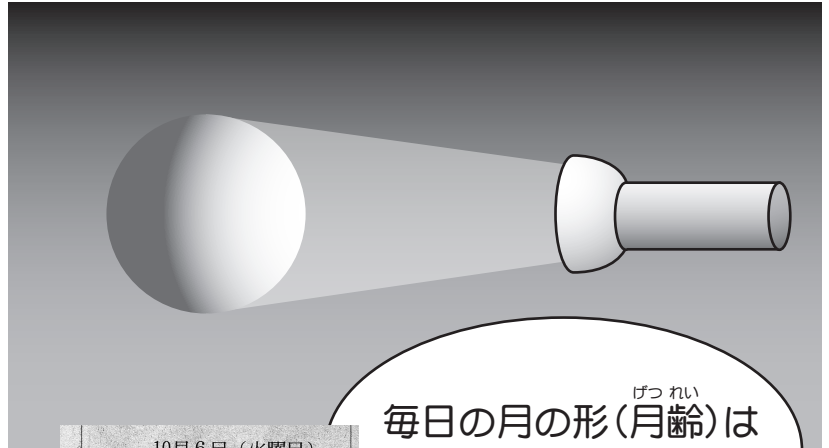
6年

◆プラネタリウムで学習した、月の満ち欠けの実験を、学校やおうちでもやってみよう。

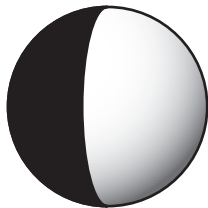
①ピンポン玉など、手ごろな大きさの玉を用意する(白いものがよい)。



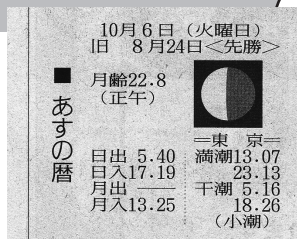
②ピンポン玉を月に見立て、暗くした部屋で、太陽光のかわりに、かい中電灯などでいろいろな向きから光を当ててみよう。今日の月と見くらべて、同じ形になるのは、どちらから光が当たっているときだろうか？



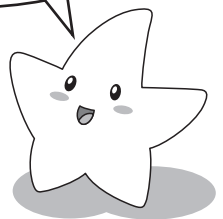
※かい中電灯の光でうまく影ができないときは、ピンポン玉を半分黒くぬり、向きを変えながら考えてみよう。



毎日の月の形(月齢)は新聞にのっているよ!



こんなかんじ



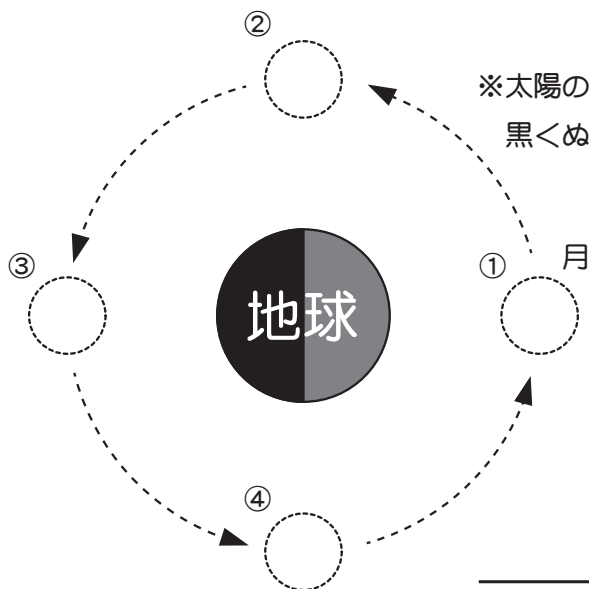
| | |
|-----------|-------------------|
| 12~2月の月の形 | ● 三日月.....12月22日 |
| | ◐ 半月(上弦)...12月28日 |
| | ○ 満月...令和8年1月3日 |

※その後は...●三日月 令和8年1月21日、◐半月1月26日、○満月2月2日

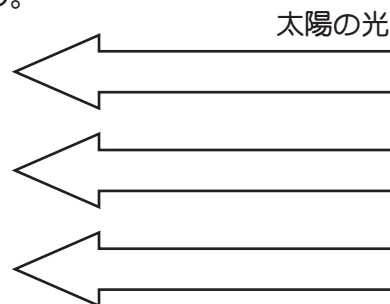
◆月は地球のまわりをおよそ27.3日かけて回っている。

下の図は、宇宙へ飛び出し、遠くからその様子をながめている(地球の北極側から見た図)。

地上から見て、次のような形の月が見えるのは、下の図で、月が①~④のどの位置にあるときだろうか？



※太陽の光が当たらない影の部分(ふぶん)を黒くぬってみよう。



年 組 名前